

9月10日は下水道の日

令和元年度下水道推進標語 「下水道 見えないしごとに 金メダル」

★下水道使用にあたってのお願い

下水道は、みんなで使う公共の財産です。1人ひとりがルールを守って正しく使うことを心がけましょう。

○大雨でも公共マスを開けて雨水は流さないでください！

下水管が大量の雨水であふれ、トイレなどが使えなくなってしまう。また、開けた公共マスに人が転落すると大変危険です。

○トイレットペーパー以外の紙、布、食べ物のくず、プラスチック類などは絶対に流さないでください！

マンホールポンプの故障を招き、マンホールから汚水があふれたり、排水口から汚水が逆流する恐れがあります。

○油分はできるだけ流さないようにしてください！

下水道管内で固まってしまい詰まりの原因となります。もやすごみの日に「一般家庭から出される使用済みてんぷら油」を回収していますので、キャップ付（ねじ式）ペットボトルに入れ、お住まいの地区のごみステーションに出してください。固化したもの、布・紙に浸み込ませたものはもやすごみとして処分してください。

また、油分の多い排水を流す飲食店・事業所等は、グリーストラップの適正な管理をお願いします。

○灯油の流出に注意してください！

例年、冬から春先にかけて灯油など石油類有害物質の流入が確認され、下水処理に悪影響が出ています。ポリタンク・屋外設置のタンクの管理を徹底しましょう！

★未接続世帯へのお願い

隣近所が下水道へ接続していないため、悪臭や水質汚濁など周辺環境が良くなる等々の苦情が寄せられています。早期の接続をお願いします。



■問合せ：企業課下水道係 ☎0234-42-0181

「庄内町議会議員なり手不足解消検討会議」の委員を募集します！

町議会では、議会議員なり手不足解消検討会議を設置し、次の選挙に向けての行動を町民の方々と一緒に取り組むことにしました。なり手不足は、今、議員になっている者だけが議論しても解決しません。

そこで検討会議は、現職議員と町内で様々な仕事や活動をしている方、さらに、公募の委員で構成する予定です。「私はこのような条件が整えば立候補したい！」と思える環境整備をすることは、町にとって重要な課題です。一緒に検討してみようと思う方は、ぜひご応募ください。

- 募集人数：2人
- 任期：委嘱日から令和2年6月定例会まで ※会議は任期中4～6回程度を予定
- 費用弁償：町の規定による
- 応募方法：「議員なり手不足解消について」の意見や提言、動機等を400字程度にまとめ、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記載のうえ、議会事務局へご持参いただくか、郵送で提出してください。議員がどんな仕事をしているのかお知らせする資料を議会事務局に準備しています。ぜひ問合せください。
- 郵送送付先：〒999-7781 庄内町余目字町132-1 庄内町役場議会事務局
- 募集締切：9/24(火) (必着)
- 選考方法など：作文の内容・男女比率・年齢比率などを考慮のうえ、選考します。応募者全員に結果をお知らせします。また、提出いただいた書類などは返却できませんので、ご了承ください。 ※応募書類は、委員選考のために使用し、他の目的には使用しません。

■問・申込み：議会事務局 ☎0234-42-0188、0234-42-0189

広報委員 放浪記



うけもちのかみ 保食神 穀物・農業を司る女神

◆撮影場所 第一学区 余目八幡神社

神名のウケはウカと同源で、食物の意味です。さらに「頭から牛馬が生まれた」ということから牛馬の神ともされています。ここに保食神を祀っているのは、やはり農業が盛んな地域柄なのでしょう。

神話によると天照大神は月夜見尊に、葦原中国にいる保食神を見てくるよう命じました。月夜見尊が彼の所へ行くと、保食神は口から米、魚、獣を吐き出してもてなしました。月夜見尊は「吐き出したものを食べさせるとは」と怒り、保食神を斬り殺しました。それを聞いた天照大神は怒り、二度と月夜見尊と会うことはなく、それから太陽と月は昼と夜とに別れて出るようになったといわれています。

同じ境内には、稲を象徴する穀霊神・農耕神である稲荷神(お稲荷様)を祀った祠があり、農耕用の牛馬と共に暮らし日々五穀豊穡を祈った先人の暮らしが偲べれます。



●取材／広報委員 ㊦

夏の風物詩、鮎釣り

◆撮影場所 立谷沢地区 立谷沢川

真夏日が続く時期は、目と耳から涼を求めて立谷沢川に気持ちが向きます。水色がシャワシャワ、ひた走って行く様が心地良いですが、その中に点々と釣り人達が立っている様子もまた涼しげ。川沿いには庄内外ナンバーも。鮎釣りダンディーの一人にお話をお伺いすることができました。

鮎釣りにはカンカン照りの時間帯が向いている、実は岸辺ギリギリそこらじゅうに苔の食み跡があったこと、立谷沢川の鮎は大きめだ、などなど、ほかにもたくさん、港や浜釣りしか経験のない私は、大変勉強になりました！酒田市にお住まいの池田さん、突然のインタビューにお応えいただき、本当にありがとうございました！



●取材／広報委員 ㊦

庄内町の文化財

銅製 鑿子

この鑿子は、口径40.5cm、上縁部厚さ0.7cm、高さ35.0cm、膨らみ(最大)147.5cmあり、文化14年(1817)に(じゅうもつ)として求めたもので、上縁部に次の様な刻銘があります。

「文化十四丁丑仲秋羽州庄内田川郡立谷沢肝煎東光山満願禅寺什物現廿一世」

「梅仙氏求之施主惣巨中」

また、同部分には永和元年2月9日に原四郎兵衛という人が春永という人の菩提を弔うために、永慶寺というお寺に納めたと解される刻銘があり、作者は京寺町に住む仏具屋治右衛門であることも解読されます。

永和という年号は北朝年号で、その元年は1375年であり、銘のはっきりした南北朝時代の資料(直接当時の資料としてのつながりはない)としては、当町ではめずらしい文化財です。昭和43年12月に町指定文化財に指定されました。

